

消化管手術における清潔操作・器械準備と術中の細菌検出状況に関する研究

➤ 研究（調査）の目的と概略

手術器具や手術環境の細菌汚染は、術後の創部浸出液排出の長期化や人工関節周囲感染と関連、術後創感染のリスク増大と関連することが知られています。今回、九州がんセンターでの消化管手術（腸管切除・再建）において、清潔操作や器械準備の正確性について、環境中の細菌検査を行うことで検証を行い、操作・準備の改善・最適化を行います。

➤ 研究（調査）の方法

2024年10月から2026年10月までに九州がんセンター消化管外科において腸管の切除吻合を伴う術中に使用した、①交換される手袋②創部洗浄水③閉創に使用した器械の表面・洗浄液の細菌培養など細菌同定検査を行い、各症例の臨床病理学的因子、術後合併症の発症状況を収集する。創感染発症時は臨床的に同定された原因菌に関して検討する。

➤ 研究（調査）の参加施設

独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 消化管外科

➤ 調査期間

2024年 10月 1日～ 2026年 12月 31日

➤ 調査の対象となる患者さんへ

上記期間に、消化管手術（腸管切除・再建）を受けた患者さんが対象になります。術中に得られたデータをまとめて解析します。患者さんのデータは、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

今回の研究の実施にあたっては、九州がんセンター倫理委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は2026年12月31日までです。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査へのご協力の如何にかかわらず、利益や不利益が及ぶことはありません。データの使用をお断りになる場合には本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

研究責任者：独立行政法人国立病院機構九州がんセンター
消化管外科医長 杉山 雅彦

住所：〒811-1395 福岡県福岡市南区野多目3-1-1
電話：092-541-3231 （代表） FAX：092-542-8503